

ゲームの的は 「ふれあい」

「福祉ふれあい大会」では、体育指導員さんのアドバイスにより、参加者がさまざまな軽スポーツを楽しみました。的に入った瞬間の喜びを味わおうと、皆さんがチャレンジした輪投げゲーム。たとえ投げる輪が的をはずれても、この大会の「障害者と健常者が一堂に会して心と体をふれあう」という目標、「ふれあい」の的には、参加者全員が入っていました。

(記事は十二ページ)

 広報

1995年 4 月号 (No.288)

しんとう

主 な 内 容

新年度予算特集… 2～8 ページ
3月定例議会… 9～13 ページ
ふれあい館で
会いましょう …… 14～15 ページ
むらのニュース… 16～17 ページ
くらしの情報… 18～19 ページ
こちら保健婦です… 20 ページ

発行／榛東村役場 〒370-35群馬県北群馬郡榛東村大字山子田1258番地1 ☎0279-54-2211 編集／企画広報課

広報は綴って保存しましょう いつか役に立ちます 再生紙使用

決定

当初予算

平成7年度

みなさんの暮らしに 41億9,300万円

みなさんの暮らしに使われる平成7年度の当初予算が決まりました。福祉を充実したり、教育や道路改良などに使われるお金の総額は四十一億九千三百万円。みなさんがふだん何げなく暮らしている生活の隅々にいきわたるように、そして、限られた財源をむだなく効率的に使うように工夫されています。新年度予算のあらましを二から八ページにわたって紹介しましょう。

歳入

おもな歳入は 一般財源は七二・九パーセント

平成七年度一般会計の歳入総額は四十一億九千三百万円です。それでは、歳入の主なものを紹介しましょう。三つの円グラフをご覧ください。

歳入で一番多い地方交付税は、前年度より一億四千万円多い十二億二千万円を見込んでおり、歳入全体に占める割合は二九・一割となります。皆さんに納めていただく村税は、合計九億七千二百五十五万円です。これも前年度より一億二百八十五万円多く見込みました。財政調整基金など

からの取りくずし金である繰入金金は、前年度と同じ程度の五億六千九百九十九万円です。国庫支出金は、前年度より二千五百万円ほど増えて三億四千六百二十二万円です。村の借金である村債は、前年の三分の一程度の二億二千三百八十万円です。財産収入は約二千五百万円増の一億三千九百四十万円となっています。

いま紹介した中で、地方交付税や村税などは、使いみちに制約が加わらない一般財源と呼ばれているものですが、これらの総額は三十億五千

六百八十九万円、率にすると七二・九割となります。

村税 貴重な自主財源

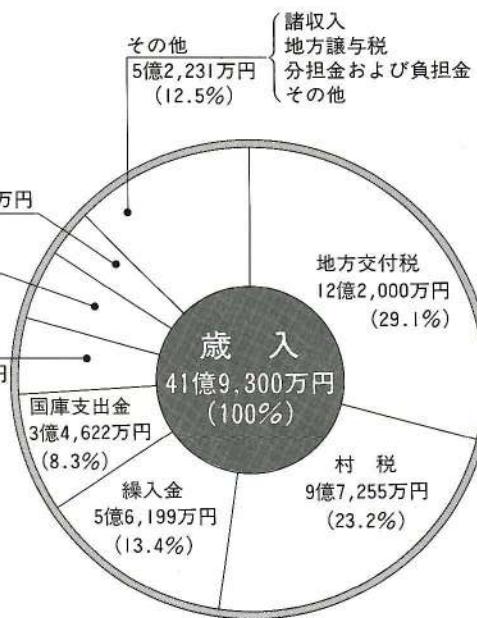
貴重な自主財源のひとつである村税は、前年度当初よりも一割ほど多い九億七千二百五十五万円を見込んでいます。これは固定資産税の課税客体である償却資産の増加によるもので同税は、前年度当初より八千四百七十八万円の増となっています。

村税全体を、赤やんからお年寄りまでを含めた村の人口一万二千七百一十一人（三月一日現在）で割ると、一人当たり約七千六百五十二円納



めていただくこととなります。

一般会計 当初予算



平成六年度は、財政調整基金および地域振興基金の取りくずしや起債により、皆さまの念願でありました「ふるさと館」の建設、中学校の大規模改造などに取り組むとともに、土地開発公社によるふれあい広場の用地取得など、各種事業を行ってまいりましたが、それぞれ初期の目的を達成することができ、「健康で活力と文化に満ちた住みよいむら」という目標に向かって前進をとげたことは、村民の皆さまをはじめ、議会、関係各位のご協力のたまものと感謝申し上げます。

このたび平成七年度当初予算を編成しましたが、本村は前年度より一段と厳しい財政事情におかれています。このため長期的視点に立った村政執行、幸せな村民生活の実現と、本村の発展を念頭に、徹底した歳出の洗い直し、限られた財源の中で重点的かつ効率的な予算の配分に努めながら、編成を行ってまいりました。

平成七年度一般会計当初予算は、歳入歳出それぞれ四十一億九千三百万円、前年対比四・〇七割のマイナスとなりましたが、それでも大型予算と呼べるものです。

歳入では、村税一億二千八百八十五万円、地方交付税一億四千万円の増額を見込み、さらに不足する財源として財政調整基金など五億六千九百九十九万円を取りくずしたほか、二億二千三百八十八万円の起債によって財源を確保しました。

次に建設事業から歳出の主なものをご紹介しますと、ふれあい館関係の整備に三千四百四十万円を計上するとともに、十九区コミセンの建設事業費も予算化しました。なお、ふれあい館は、社会福祉協議



村長 一倉 登

効率的な予算で幸せな村民 生活の実現と村の発展を

会に委託するため、その経費として派遣職員費を含めた約九千四百九十万円も計上してあります。

農林関係では、桃泉地区を中心としたほ場整備やグリーン・ツーリズムモデル整備事業の一環として行う市民農園の整備予算を計上しました。また、林業関係でも、村有林の空間を生かした創造の森を本年度完成させ、地域の活性化をめざします。

土木費では、平成六年度に引き続き上野幹線の改良を行うとともに、村道十一路線の調査および工事費を計上したほか、地域改善事業による道路整備や防火水槽整備などの予算を計上しました。

一方、教育費関係では、昨年に引き続いて行う中学校の大規模改造のほか、家庭を整備するなどして教育環境を整えます。

ことしは特別会計でも大事業が多く、第三次上水道拡張事業にもなう上水道の本格的な工事が始まるほか、公共下水道も平成八年度の供用開始にむけた予算を計上しました。

もうひとつお知らせしたい大切なことがあります。それは本村独自の行政改革大綱を本年度つくることです。この大綱を設けることによって、より合理的な行政をめざすことは言うまでもありません。

以上、厳しい財政事情を考えれば、それなりに大きな予算となっていますが、これもすべて村民の福祉や教育、産業、経済、文化などの推進を図り、「健康で心豊かに暮らせる様東村」を築くために、村民皆さまにおかれましても、村の現状と施策・方針をご理解いただき、二十一世紀に向けた村づくりにご協力いただきますようお願い申し上げます。

福祉健康



ふれあい館のロビー

福祉施設 ふれあい館送迎バスを購入

本村の福祉拠点となる「ふれあい館」は、社会福祉協議会に委託して運営を行います。

デイサービスセンターを含めて総勢二十一人のスタッフがこの施設に従事するわけですが、その運営費として、ふれあい館で約五千三百三十四万円、デイサービスセンターで約四千五百五十七万円を支出します。新年度は、建物周辺の整備もすめられ、植木や芝を植える植栽工事などを行い、皆さんが交流を図るのに適した環境をつくりたい。

社会福祉協議会 福祉の新時代を開く

前述したとおり、ふれあい館が村から委託されるため、そのスタッフ二十一人全員が社会福祉協議会に属するわけです。

社会福祉協議会は、そのスタッフとともに、ふれあい館の日常訓練室や特別浴室など、各種設備を活用して、皆さんの健康維持の増進、生きがい創作教室、世代間交

老人ホーム委託料やちびっ子広場も

平成六年度より県の福祉事務所から村へ委託された老人ホームの委託料は、本年度、二十二名を見込んで六千九百八十七万円が予算化されました。

を目的とした人材育成などに取り組みながら、本村福祉の新しい時代のページを開きます。

戦後50周年事業で平和の願いを新たに

ことしは戦後五十周年という節目の年です。その戦争で尊い命を国にささげた人たちの英霊を納めた英霊廟が柳沢寺山門の東にありますが、老朽化も進んでいること

健康づくり 健康増進と予防医療を推進

皆さんの健康増進のためにさまざまな健康づくり教室や健康相談、「健康づくり歩け大会」などのイベントを開催し、積極的に健康増進の啓蒙活動に努めます。

衛生 ゴミの減量化で環境保全

皆さんのご家庭などから出されるゴミやし尿を処理するのに、年間約六千六百十五万円が必要となります。

総合計画 行政指針となる期間は十年間

昨年から続けられている第四次総合計画の策定作業は、本年度で終了し、平成八年度から十年間、村政の指針となる計画がいよいよ完成します。

消防 組織および設備の充実を図る

皆さんが安心して生活を送る中で、消防の組織や設備はなくてはならないものです。

交通安全 交通モラルの向上を推進

交通安全対策では、従来から行われている交通安全の啓蒙普及を図るとともに、昨年の交通事故第一当事者のワースト記録（二位）の汚名を返上するため、ドライバーの交通モラルの向上をめざした運動も行います。

コメン 本年度は19区に建設されます

本年度、十九区の皆さんに待望のコミュニティセンターが、下の図の場所へ建設されます（建物は鉄骨平家、床面積は未定）。

公共交通 バス路線の確保に努めます

第三種生活路線となっていた路線バス箕郷・渋川線は、十月一日



道路建設 延べ一千七百十九メートルを整備

平成七年度に整備される主な道路は、下の表に示すとおり八路線で、排水路の改良が一路線となっています。

昨年からは始まった上野幹線道路（広域農道）は、車道の舗装および歩道を設ける工事が延べ二百五十メートルにわたって行われます。本年度に実施する道路九路線の総延長は、一千七百十九メートルにおよび、排水路の改良などを含めた工事費の総額は一億八千七百十三万円となります。

表：平成7年度に整備される主な道路など

区	路線名または事業名	整備内容	延長m	幅m
13	上野幹線（広域農道）	改良舗装	254	7.5
14	大川地区内道路	改良舗装	310	4.0
4	甲府地区内道路	改良舗装	147	4.0
6	新保地区内道路	改良舗装	146	4.0
9	村道・堂塚2号線	改良舗装	166	5.0
8	村道・清水貝戸18号線	改良舗装	221.9	5.0
9	村道・梶貝戸2号線	改良舗装	229.4	4.0
2	布海戸1号線側溝	側溝改良	延長600m	
15	宮室地区内道路	改良舗装	70	5.0
15	宮室農道整備工事	改良舗装	175	5.0



バス会社には運行を引き継ぐ予定ですが、同時に県から支出されていた補助金もなくなるため、本年度からその補助金を沿線市町村が支出して、バス路線の確保に努めます。

なお、箕郷・渋川線以外のバス路線は、従来と変わらず運行されますが、利用者の減少が著しくなれば、箕郷・渋川線と同様に、県などの補助金もなくなり、運行できなくなる可能性があります。このためぜひ、バスのご利用をお願いします。



ちびっ子広場は、小さなスペースでも子どもには魅力ある空間です（写真は17区）



毎年、4月に行われている慰霊祭。ことしも4月20日に行われます（写真は昨年ようす）

す。この金額を減らすとともに、環境という将来の大切な財産を守るよう、村でもゴミの減量と環境破壊を防ぐために、リサイクル運動を行う団体などへ、奨励金を出すことにしています。

域内に一基、十五区内に一基が設置されます。いずれも四〇トンの貯水能力があります。なお、消火栓も二基が新設されます（場所は今後決定）。

教育文化



学校 教育施設の整備とともに教育振興を図る

昨年から続けられている中学校北校舎の大規模改修工事。校舎東側の一階から四階までを施工する工事は、昨年と同じ夏休みを中心として行われ、ここの秋にはり

フォームされた北校舎が完成します。このほか中学校では、グラウンドなどを整備し、教育施設の充実を図ります。

一方、小学校では、コンクール

文化 施設を整えて生涯学習を推進

平成四年十一月にオープンし、さまざまな行事などに利用されている南部コミュニティセンターでは、より使いやすい施設をめざして、駐車場の造成工事を行うことになりました。

皆さんが取り組んでいる生涯学習では、活発な活動を続ける自主



南部コミセンの駐車場は、雨でも心配せずに駐車できるようになります



昨年の産業祭で演奏する南小吹奏楽部。小雨が気になる中での演奏となりました。

産業観光



特産品開発 G・ツリーリズム リンゴ栽培を拡大、市民農園を二カ所に整備

従来から本村では、小規模なリンゴ栽培が行われていたが、本年度、特産品開発の一環としてリンゴ栽培を拡大しようと、一・五畝分の新植補助金が予算化されました。

一方、グリーン・ツリーリズムモデル整備事業では、二年間続けたソフト事業も終わり、そこで蓄積された各種データに基づいて、いよいよ本年度からハード事業が始まります。その第一段として、本



リンゴのわい化栽培。この方法によるリンゴの栽培は、広馬場地区などで少数の生産者が取り組んでいます

区画される農地の面積は二カ所で約一万平方メートルとなっています。

ほ場整備 桃泉地区と笹熊地区でそれぞれ面工事に着手

防衛補助事業の第三次計画に基づいて行われている本村の土地改良事業も四年目を迎え、本年度は、新井地区において桃泉地区ほ場整備事業で十六・九畝におよぶ農用地の面工事をを行うほか、新井地区

で昨年度、面工事をを行った八幡地区では、地区内道路の舗装工事が行われます。

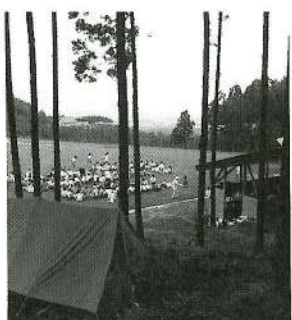
また、地域改善対策事業では、新井地区において、笹熊地区ほ場整備事業（計画受益面積約四・三

創造の森 村と県で約20ヘクタールの森林レジャー施設が誕生

本村の豊かな森林環境を満喫しながらレクリエーション活動が行える施設として、平成五年度から取り組んでいる創造の森整備事業は、本年度、森の恵みを食す小屋や、敷地内の排水を利用した人工

溪流路などを整備することにより、新しいタイプのレジャー施設「創造の森」がいよいよ誕生します。

なお、村で行っている創造の森整備事業に、隣接した地域で県が行っている生活環境保全林整備事



創造の森で行われたキャンプ（写真は昨年の夏）

イベント① 巨大団地で村をアピール

昨年、東京池袋東口公園内で、ふるさと太鼓などを披露しながら本村をアピールした東京キャンペーン。本年度も、五月二十一日に会場を高島平団地（板橋区内・居住世帯約三万戸）の赤塚公園に移し

団地で暮らす人々へ、本村の自然とともに、さまざまな特産物や観光名所を紹介するこの東京キャンペーンのもうひとつは、広報でもお知らせする予定です。

イベント② 第三回榛東村民号を運行

お座敷列車で楽しく各地を旅する第三回村民号が、ここの十月下旬に走ります。今回の行き先は、一泊二日で三保の松原などを訪ねる「日本平・久能山・御前崎の旅」です。日程などが決まりました。

広報や回覧板などでお申し込みのお知らせをしますので、旅行プランの皆さん、お見逃しのないように。

詳しいことは、役場産業経済課までお問い合わせください。

一般会計 歳出

公共下水道事業特別会計

平成8年4月供用開始に向けて始動

特別会計になって三年目を迎えた榛東村流域関連公共下水道事業は、いよいよ平成八年度から一部の供用を開始します。

としの秋から区域内の世帯を対象とした公共下水道に関する説明会が実施されます。公共下水道説明

会については、その都度、区域内の各世帯へ開催通知を送りますので、ぜひご出席ください。

この一部供用開始の準備とともに、管路の埋設工事も十区や二十一区、十一区で実施されます。埋設される管は、内径四百五十ミリから二百ミリの幹線や支線で、その総

延長は約二キロに達します。事業費の総額は、測量委託料を含めて一億六千九百六十万円（利根川流域下水道などの負担金を含めた全体事業費は二億三百四十一万円）となっています。

特別会計と 事業会計の予算

平成7年度公共下水道実施計画図



国民健康保険特別会計

国保税は歳入のほぼ五割

農業や自営業に従事している皆さんや、その奥さんなどが加入している国民健康保険。その特別会計は、歳入歳出ともに六億一千二百八十四万円です。

歳入で主なもの、国民健康保険税三億六千九百九十九万円、国庫支出金二億六千四百五十五万円、一般会計などからの繰入金三千四百四十四万円など、加入者からいただく国民健康保険税が全体のほぼ五割を占めています。

歳出で一番多いのは、加入者がお医者さんにかかったときなどに、



国保会計で負担する保険給付費が四億三千五百八十二万円、全体の七一・一割を占め、次いで老人保健拠出金が一億四千六百六十九万円の二三・九割となっています。

住宅新築資金等貸付特別会計

貸付費は歳出の五四・三割

住宅の新築や改修、宅地取得などの資金を貸し付ける住宅新築資

金等貸付特別会計は、歳入歳出ともに一億七千九百九十五万円となっています。

特別会計と

事業会計の予算

歳入では、貸付金の元利収入が全体の三三・三割を占め、次いで国庫支出金や村からの繰入金金などとなっています。歳出は、全体の五四・三割を占める貸付費のほかは公債費となっています。

老人保健特別会計

予算総額は六億五千八百八十八万円

すべての人が国民健康保険から社会保険に加入していますが、七十歳以上のお年寄り（六十五歳以上で一定の障害がある人を含む）が、お医者さんにかかった場合、個人

負担分を除いた医療費は、すべてこの老人保健特別会計から支払われます。

歳入歳出の総額は、それぞれ六億五千八百八十八万円で、歳入で

は支払基金交付金が四億四千八十五万円、次いで国庫支出金が一億四千五百一十万円などとなっています。歳出は、全体の九八・九割が医療諸費で占められています。

上水道事業会計

第三次拡張事業による本格的な工事に着手

村の上水道では、皆さんのご家庭に一日平均五千六百五十四リットの安心して飲めるおいしい水をお届けしていますが、このために一億八千六百九十六万円のお金がかかります。

昨年度から設計などに着手していた榑東村上水道第三次拡張事業の工事が、本年度から本格的に始まります。

にある新幹線のトンネルから水を長岡貯水池に汲み揚げて中継ポンプ機場の隣に、二千六百五十平方メートルの土地を取得し、梨子木平浄水場として容量千七百リットの配水池などを整備し、ここから内径二百五十ミリの配水管を、ふるさと公園の隣の北部浄水場まで埋設（延長九百四十五メートル）するというもの。

第三次拡張事業による工事は、今後六年間ほど続けられ、平成八年度以降も梨子木平浄水場の管理棟を建設したり、老朽管などを更新することになっています。

表1 収益的収入および支出

事業収益	事業費用
営業収益 1億4,520万円	営業費用 1億7,159万円
営業外収益など 3,877万円	営業外費用など 1,537万円
収入計 1億8,397万円	支出計 1億8,696万円

表2 資本的収入および支出

資本的収入	資本的収支
企業債 9,600万円	建設改良費 2億8,740万円
国庫補助金 1億4,513万円	企業債償還金 649万円
工事負担金 860万円	収入計 2億4,973万円
収入計 2億4,973万円	支出計 2億9,389万円



3月定例村議会



ことしになって初めての定例村議会（三月定例会）が、三月十日から二十二日までの十三日間の会期で開かれました。三月定例会では平成六年度的一般会計や特別会計の補正予算、国民健康保険税条例などの改正、選挙管理委員の選挙、平成七年度的一般会計予算や特別会計予算など十二議案が審議され、すべて原案通り可決されました。

また、請願と陳情では、本定例会に出されたものと、継続審査になっていたものを含めた十二件の案件について審議されました。さらに、十六日に行われた通告制による一般質問では、二議員から質問が出され、熱心な質疑がかわされました。

大災害に
そなえて

村の防災計画を見なおす

一般質問紙上再現

順不同・要約

防災・防災計画など

県防災計画は改正後
震度7クラスを想定

質問▼一般災害および震災に関する平成七年度予算の内容と、震災などを受けた場合の復旧に要する費用の支出方法を聞きたい。

答弁●防災関係の当初予算では、四十ト級防火水槽二基と消火栓二つを整備する。また、消防費では、消防団の運営、広域組合の消防負担金などを含めた総額一億五千万円を予算化した。

新年度予算は、毎年十一月から

十二月にかけて編成している。阪神大震災がその時期に発生しているれば、震災関係の予算を考えたかもしれないが、今回の当初予算では、震災を考慮していない。

もし一般災害が発生した場合に、予備費を充てるほか、執行中の事業を中止してでも復旧費用に充てなければならぬ。なお、災害の復旧費用を自治体の予算で対応できない場合は、災害救助法に適用した補助金制度や、災害復旧事業債などで賄うことができる。

質問▼震災などが発生した場合の医療や消防などの救急体制、水や食料、寝具、医療、衣類などの備蓄を村はどのように考えているの

か。また、防災行政無線の取り扱いの指導を職員にどのように行っているのか聞きたい。

答弁●本村には、防災計画に基づいた「災害発生等に関するマニュアル」がつけられている。その中で救急体制は整えてあるが、神戸のように、建造物や人口が密集した地域における被害を想定したものではない。

阪神大震災によって、全国の都道府県や自治体では、防災計画を見なおすところが多い。本県の防災計画も基準を震度7とした内容に改正し、近く開かれる洪川地区広域圏組合の会議で発表される。

災害用物資の備蓄は、その会議

でも検討するが、その結果をふまえたうえで、村独自の備蓄を考えるとともに、村の防災計画自体の見なおしを行っていききたい。

防災行政無線の取り扱いには、重要と考えて、新採用の職員にはもちろんのこと、操作方法に変更があった場合など、その都度、宿日直者に指導を行っている。

なお、本村で震災が起きた場合には、自衛隊も比較的容易に災害派遣できると聞いている。現状でも自衛隊の消防車は、迅速に村内の火災現場へ出動している。また、駐とん地内には、医療施設や食料なども備蓄されており、村も災害時の利用を期待している。



保育園でも毎月避難訓練を行っています（写真は南部保育園）



▼防災・弱者への配慮 「独居老人」マップを 民生児童委員へ配布

質問▼阪神大震災の犠牲者には、お年寄りや身体障害者など多いが、この結果を村ではどのようにとらえているのか。また、被災地で活躍しているボランティアなどの育成を、どのように取り組んでいくのか聞きたい。

答弁●阪神大震災では、一人暮らしのお年寄りが犠牲者の多くを占めている。この教訓から村では、災害時、民生児童委員さんらが、一人暮らしのお年寄りをいち早く避難場所へ誘導できるようにと、該当するお年寄りの家を印した「独居老人マップ」を製作し、民生児童委員さんへ配布した。

ボランティアの育成については、新年度予算でも研修費という名目で計上するとともに、ボランティア



独居老人マップを説明する住民課長

アの形態別の細分化にも取り組んでいる。ボランティアとは、個人の互助精神で形成されるものであり、そのような意識を育むことも大切であると考えている。

また、防災教育の振興とともに、地域を熟知している婦人会などの組織の育成も欠かせないと考え、今後、議会とともに地域組織の活性化にも積極的に取り組みたいと考えている。

▼防災・水と公共施設 飲料水の確保を検討 公共施設の安全確認

質問▼阪神大震災では、上水道の配水管が大きな被害を受けた。また、消火栓のサイズで支援部隊が苦労した話を聞く。本村の配水管の耐震性を高くすることはできないのか。また、防火水槽の耐震性について聞きたい。

答弁●現在、実用化されている耐震性の高い配水管は、価格が六〇割ほど従来のものより高くなる。このため普及率は低く、防衛庁の補助事業でも対象外である。この補助事業で行う第三次拡張事業でも配水管の布設替えを行うが、耐震性をあげることは難しい。

なお、神戸は水道設備の歴史が古く、JIS制定以前の規格品で設備を統一していたため、支援の消防器材などが直接使えないとい



う問題があったが、本村の水道設備は、JISの規格品を使用しているため心配も少ない。

また、本村の防火水槽は、従来の設計に基づいて作られているため、震度5程度の地震には耐えられるが、直下型地震を想定したものではない。

現在、消火栓と防火水槽を兼ねながら、水も直接飲用できる耐震

貯水槽も実用化され、三千万円程度と従来タイプよりかなり高いが、飲料水を確保するため、このようなタイプの導入も今後の整備計画の中で検討したい。

質問▼災害時、河川などの表流水を容易に飲料水にする方法があるというが、説明を聞きたい。

答弁●表流水でも、簡易浄水装置を使えば飲用できる。その装置は持ち運びができ、動力が付いて時間当たり二、三のろ過能力で百万円前後の価格と聞いている。

なお、本村を流れる表流水は少なく、災害時には、農業用の群馬用水や貯水池、防火水槽の水をろ過して飲料水に使う場合が多いと考えられる。

質問▼役場庁舎は、災害の際に重要な役割を果たすが、現在の庁舎の地震に対する安全度や、新庁舎の建設計画などはどのように取り組んでいるのか。

また、避難所および教育施設などの地震に対する安全性をどのように考えているのか聞きたい。

答弁●昭和三十四年に建てられた現在の庁舎は、耐震度の算出根拠となる資料も少なく、現在、安全を確認する方法を設計会社へ問い



建設された当時の役場庁舎。庭に駐車している自動車年代を物語っています

合わせているが、直下型ではない震度5程度の耐震能力はあると推測している。

新庁舎は、村の第四次総合計画で平成十七年頃に建設する計画だが、阪神大震災の状況から、なるべく早期に建設したいと考えている。新庁舎の位置は、現在の場所とは別に、広い敷地を求めていく計画である。

本村の避難所として利用可能な各区のコミセンは、頑丈で安全性も高いが、教育施設や公共施設の安全性については、状況を調べて早急に対処したい。

▼防災・道路問題 防災に役立つ行政 主導型道路を検討

質問▼災害派遣で自衛隊の車両が移動しやすいように、道路を整備

することも必要である。そのような道路の建設計画と、関越道のインターチェンジをより本村へ近付けることができるのか。この二点を聞きたい。

答弁●現在、村が検討している都市計画道路は、自衛隊の車両を主体とした計画ではないが、その用に供することも可能な道路にしたいと考えている。この都市計画道路は、村の発展に重要な役割を果たす道路であり、関係する前橋、吉岡などととも慎重に取り組んでいかなければならない。

また、関越道のインターチェンジは、利根新橋関連道路が交差する駒寄パーキングエリア付近へ新たに設けるよう、本村を含めた関係自治体で国へ要望していきたいと考えている。

▼道路敷地の買収単価 課題は一般土地取引 価格に近付けること

質問▼村道の拡張工事では個人の敷地を買収する単価の基準はどのようになっているのか。また、買収する土地の形状などによって、買収価格に特別な処置をしているのか聞きたい。

答弁●平成六年度における道路敷地の買収単価は、幅員により二つに分けている。幅員四メートル以上の平方単価は、宅地と墓地が七千円、田畑が四千円、山林が二千五百円と定めている。幅員六メートル以上の平方単価は、宅地と墓地が一万円、田畑が六千円、山林が四千円と定めている。幅員六メートル以上



設計図に道路敷地を描写するカーブを描く際の注意点を示す図

の単価は、上野幹線道路で使っている。この二つの単価を使うだけで、このほかに特別な処置はない。

質問▼近隣市町村が定めている道路敷地の買収単価の状況について聞きたい。

答弁●近隣市町村では、本村と同じような方法で定めている自治体もあるが、道路の拡張で両側を買収せず片側だけ買収する際に、単価を二倍にしたり、構造物の補償費を考慮するなど経済性を考えて、片側のみの買収単価を三倍と定めている自治体もある。

質問▼買収面積の割合が道路の両側で異なり、その割合が大きくなる土地所有者への救済処置もないが、その理由を聞きたい。

質問●一般的に道路拡張の際は、両側にふり分けて道路敷地を買収しているが、カーブなどの道路線形や拡張予定地の区画、形状などが異なるため、土地所有者をみな同じ条件にするのは難しい。特に全部改良の場合は、既存の道路線形をより直線とするため、両側の買収面積の差も大きい。

本村で行っている道路改良は、ほとんどが生活道路で、地元の要望によってすすめられているが、土地所有者との用地交渉は、それなりに時間がかかる。今後、道路改良を行っていく上で、支障となる場合があるかもしれないが、現在の方式でこれからはすすめていきたいと考えている。

質問▼改良する道路が生活道路といえども、村の公共施設の借地料のように、土地の形状に応じた価格を買収単価に適用できないのか。また、宅地の一部が道路で買収され、所有者の利用形態に著しい影響を及ぼす場合など、それなり土地所有者が納得する単価を定めなければ、円滑な道路行政の推進が図れないのではないのか。この二点について聞きたい。

答弁●道路改良は、各省庁の補助金を受けて実施することが多く、同一路線内で買収単価に差が生じると、会計検査院から指摘を受けよう。

また、それぞれの地域住民が優先して使う生活道路と、その意図が広範囲におよぶ公共施設は、意味合いが異なるため、基準も同じにはできないと考えている。

なお、現行の道路敷地の買収単価は、平成六年度に改正したもので、平成七年度当初予算もこの基準で算出している。平成八年度分の単価については、質問の件を含めて平成七年度内に、議会の建設



郷土の道路行政を推進するために、皆さんの協力をお願いします

可決された議案は

平成六年度一般会計 補正予算

歳入歳出の総額に、歳入歳出それぞれ五千四百八十五万円を追加し、補正後の歳入歳出予算額をそれぞれ四十九億六千二百二十六万五千円としました。

歳入では、各種の事業費が確定したことや税収の伸びがあつたことなどが補正のおもな理由です。一方、歳出では、いままでも借地契約を結んで利用していた公共施設（北部保育園、南幼稚園など）の用地を買収したことなどが、おもな補正の理由となっています。

平成六年度国民健康 保険特別会計補正予算

歳入歳出の総額に、歳入歳出それぞれ三千三十八万円を減額し、補正後の歳入歳出予算額を五億九千二百八十六万五千円としました。これは、一般被保険者の療養給付費が減額したことなどによる補正が主となっています。

平成六年度上水道事業 会計補正予算

資本的収入の予定額を五百四十

九万五千円減額して、五千二百五十万三千円に、資本的支出の予定額を三百八十六万三千円を減額して、一億一千八百五十三万円としました。

この補正は、補助事業費が確定したことによるものです。

平成六年度公共下水道 事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ八十二万二千円を減額し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ二億二千五百九十五万一千円としました。これは事業費の確定にともなう補正です。

上水道給水条例の 一部改正

上水道第三次拡張計画で「上水道事業の設置等に関する条例」を改正したことにより、条文の関係カ所を改めました。

国民健康保険税 条例の一部改正

国民健康保険税の算出基準が表1のように改正され、平成七年四月一日から適用されることになり

ました。今回の改正は、国保財政における税収不足が見込まれるため、八年ぶりに実施するものです。

表1

課税率および課税額	改正前	改正後
所得割の率	5.5/100	6.5/100
資産割の率	50.0/100	60.0/100
平等割の額 (被保険者一人につき)	11,000円	13,000円
世帯別均等割の額	13,500円	16,500円
軽減額		
6割軽減 被保険者均等割額	6,600円	7,800円
世帯別平等割	8,100円	9,900円
4割軽減 被保険者均等割額	4,400円	5,200円
世帯別平等割	5,400円	6,600円

工事請負契約の変更

昨年八月の第四回臨時村議会では、議決された「ふれあい館」建築工事の請負契約金額を二千二百六十六万六千六百円追加して、二億七千六百九十八万七千六百円としました。同じく、ふれあい館の給排水衛生設備工事の請負契約金額を二千八百五十七万五千五百円追加して、二億七千六百二十九万七千五百円としました。

村道の路線廃止

長岡の中野地区土地改良事業の施工にともない、関連する村道を路線廃止しました（そのほか、ふれあい広場内の一路線を路線廃止）。

村道の路線認定

長岡の中野地区土地改良事業の施工にともない、区域内に新たに設けられた村道および関連する村道を路線認定しました。

財政調整基金条例の 一部改正

（株）ジャパンセントラルコロシムにゴルフ場用地として貸していた



二議員に功労表彰

星野正美議員
大塚吉雄議員

十年にわたり村議会議員として地方自治の発展に寄与した功績が認められ、県議事会より表彰されました。

区ふれあいセンターを条文に加えました。

村営柳沢住宅 管理条例の廃止

昭和三十五年に建設された村営柳沢住宅は、老朽化がすすんで入居者がいなくなったため、村営住宅としての機能を廃止しました。

榛東村選挙管理 委員会委員および 補充員の選挙

村の選挙管理委員会の委員および補充員の選挙を行った結果、新たに八人の方々が選ばれました。選ばれた方々は、広報五月で紹介する予定です。

平成七年度予算

平成七年度の一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、老人保健特別会計予算、住宅新築資金等貸付特別会計予算、水道事業会計予算、公共下水道事業特別会計予算がそれぞれ承認されました（2/8に紹介してあります）。

議員提出議案

三月定例会では、意見書の提出に関する次の議員提出議案が審議され、承認されました。今後、政

請願と陳情

3月定例会では、陳情12件が審議されました。このうち3件が採択となったほか、一部採択が1件、趣旨採択が1件、不採択が2件、継続審査が3件、審議未了が2件となりました。

採択 全国町村議会議長会長の杉田彌平さんから出された「地方分権の推進に関する決議」陳情は、採択となりました。

採択 第一区長の善養寺伸一さんおよび区長代理の田中正雄さんから出された「村道富沢一ノ線の舗装工事をお願いする」陳情は、採択となりました。

一部採択 県高等学校教職員組合執行委員長の嶋津良夫さんと、全群馬教職員組合執行委員長の鈴木恭二さんから出された「高校生の就職保障、教育予算の拡充などゆきとどいた教育条件整備を求める」陳情は、一部採択となりました。採択されたのは、陳情のうちの「障害児教育の充実のために国および県に要請する」という項目で、ほかの項目は不採択となっています。

趣旨採択 全群馬高崎支部執行委員長の野村定男さんから出された「公共交通の改善に関する陳情」は、趣旨採択となりました。

不採択 県医療労働組合連合会執行委員長の佐藤博さんから出された「診療報酬改善・軽減・民間病院への助成措置を求める賛同」陳情は、不採択となりました。

不採択 国民医療を守る共同行動群馬県推進委員会代表委員の都築靖二さんから出された「入院給食料の一部負担等についての助成を求める」陳情は、不採択となりました。

継続審査 県農民運動連合会会長の上原太郎さんから出された「WTO(世界食料機構)農業協定改正と国民の食糧と健康・日本農業を守るために諸要求の実現を目指す」政府・関係機関に意見書の採択をお願いする陳情は、継続審査となりました。

継続審査 県労働組合会議議長の嶋津良夫さんから出された「国の責任で国民・県民の生活最低保障を確立するために、国への意見書採択をしていただきたい」陳情は、継続審査となりました。

は、継続審査となりました。

継続審査 全群馬教職員組合執行委員長の鈴木恭二さんと県高等学校教職員組合執行委員長の嶋津良夫さんから出された「学校五日制拡大にともなう学習指導要領の抜本的見直しを求める意見書採択について」の陳情は、継続審査となりました。

審議未了 日本栄養士会会長の藤沢良知さん、群馬県栄養士会会長の清水保美ほか一名から出された「地域住民に対する健康増進するに必要な栄養相談・指導を行うために、市町村に専任の管理栄養士を配置していただきたい」陳情は、審議未了となりました。

審議未了 群馬県造園建設協会会長の金子才一郎さんから出された「公園工事は、一括して造園請負業者へ発注していただきたい」陳情は、審議未了となりました。



ふれあい館で

スタッフ紹介

会いましょう

私たちの夢の施設「ふれあい館」が完成し、このほど施設に就任する皆さんが決まりました。ふれあい館には、一般部門とデイサービスセンターが設けられ、榛東村社会福祉協議会の事務局が入ります。その総勢は二十一人。このコーナーでは、皆さんのオープン直前の感想とともに、ふれあい館などで活躍する人々を紹介いたします。なお、ふれあい館では、四月二十六日にオープンセレモニーを行い、四月二十七日から四月三十日を村民無料開放日と定め、一般部門のオープンは五月二日、デイサービスセンターのオープンは五月八日とそれぞれ日程が決まりました。詳しいことは十九頁をご覧ください。

社会福祉協議会 事務局

局長

内海一夫（9区）です。四人に一人が高齢者となる二十一世紀を目前にひかえて、このほど開館するふれあい館は、新しい時代に適応した立派な施設です。この場に臨み私をはじめスタッフ一同は、施設の名に恥じないよう誠心誠意をつくして、村の福祉拠点としての役割を果たし、皆さんの期待に応えたいと思います。



社会福祉協議会事務局内職員

福祉活動専門員の小野関芳美（18区）です。高齢者の生きがい対策や福祉の啓蒙活動などで施設を活用し、地域のふれあいネットワークづくりを努めています。



事務担当の横井千尋（7区）です。ふれあい館の温かい雰囲気になら、経験が豊富で、社協の一員として成長したいと思っています。



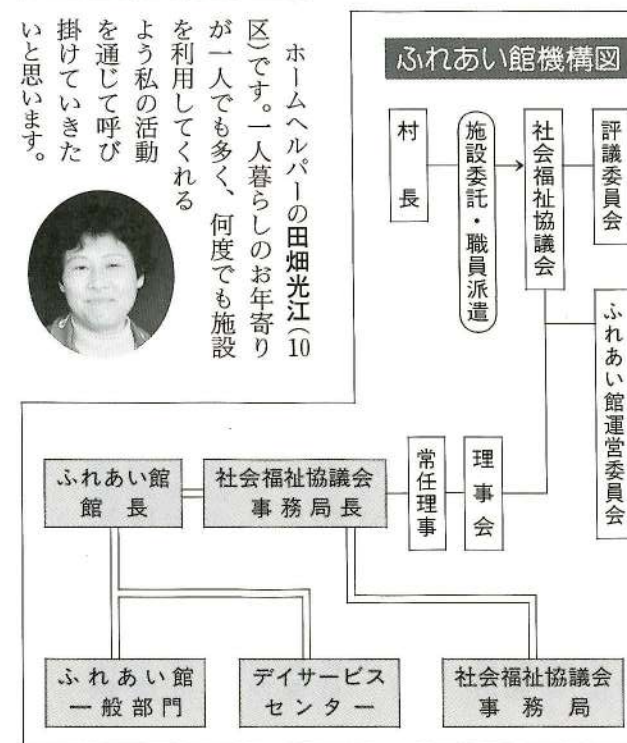
ホームヘルパーの高橋きみえ（6区）です。仕事は同じですが、立派な施設が活動拠点になり大変うれしく、施設のPRを兼ねながら対象者の家を廻りたいと思います。



ホームヘルパーの大塚美智子（9区）です。この施設が開館して、大勢の人々に私たちの仕事を理解していただき、皆さんから気軽に声をかけてもらいたいと思います。



ふれあい館機構図



館長

大谷五禮（12区）です。本村の福祉を担うとともに、皆さんにふれあいの場を提供するふれあい館は、いまだにないタイプの公共施設です。従事する私たちも初めての経験となるわけですが、来館者の声を聞くなどしながら経験を積み重ね、村民の皆さんの福祉と交流を兼ねた素晴らしい施設にしたいと思えます。



スタッフとともに 期待に応えたい



榛東村 社会福祉協議会 会長 坂庭 実

本村の福祉元年と呼ぶにふさわしい施設「ふれあい館」が完成しました。社会福祉協議会では、村からこの施設を受託しましたが、責任は重く、村民の皆さんの協力を賜りたいと考えています。運営に臨みスタッフも熱意のある者や経験を積んだ者を広く集めました。福祉の原点に戻り、このスタッフとともに夢の施設として、村民の皆さんの期待に応えたいと思います。

ふれあい館デイサービスセンター

所長

塩谷洋子（淡川市）です。広域の社会福祉協議会に努めた経験を生かして、利用者や従事者それぞれが楽しく過ごせるようなデイサービスにしたいと思っています。特に利用者の方々には、温かい心で接しますので、家庭の皆さんも気がねなく利用を通していただきたいと思います。



※塩谷所長、篠原さん、小池さん、浅見さんの四人は、社会福祉協議会の正規職員です。

生活指導員の篠原勝代（15区）です。福祉社会の向上にと福祉専門学校へ二年間通いました。そこで得た知識をデイサービスで役立てていきたいと思っています。



寮母の小池尚美（11区）です。特別養護老人ホームに就任したことはありますが、デイサービスは初めて。初心に返り楽しいデイサービスにしたいと思っています。



寮父の浅見誠司（8区）です。福祉を自分の進む道と選んで福祉専門学校へ通い、その知識を村の福祉向上に生かしながら、自分の力も試みたいと考えています。



保健婦の笹澤悦子（前橋市）です。デイサービスの開業に携わるのは、今回が二度目ですが、その経験を生かして、村の福祉向上に役立ちたいと思っています。



介助員の小淵愛子（1区）です。従事される皆さんと協力しながら、介護される身になり、利用者も楽しく過ごして気持ちよく帰れるような場所になりたいです。



調理員の藤牧実世子（8区）です。前々からお年寄りのお世話をすることが夢でした。その夢がかなったことをうれしく感じ、末長く従事したいと思っています。



ふれあい館（一般部門）

館内整理員の和田かつ（4区）です。大人から子どもまで利用者が楽しく過ごせるように努めるとともに、皆さんの交流の輪を広げられたら期待しています。



館内整理員の根岸晴美（10区）です。来館者が温泉などの設備を利用して、心身ともに疲れを癒し、何度でも訪ねてくたさるような施設にしたいと思っています。



館内整理員の村上かず子（18区）です。何事も初心者ですので、さまざまな仕事を自分なりによく考えながら身に付けて、皆さんの役に立ちたいと思っています。



館内整理員の城田恵美子（3区）です。明るい職場で、村内外を問わず来館者と温かく接して、何度でも来たくなるようなサービス心がけたいと思っています。



館内整理員の青木良子（5区）です。ふれあい館のような福祉を兼ね備えた施設に関心があつたので従事者の皆さんとともに精一杯、勤めていきたいと思っています。



事務員の石坂真理子（16区）です。何か人の役に立てる職場につきたいと思い、ふれあい館を選びました。初めての職場となりますが、よろしくお願ひします。



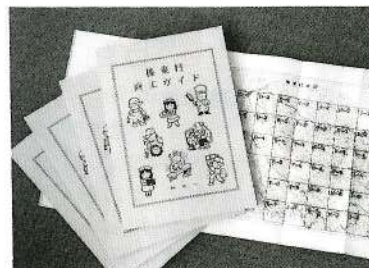
運転手の狩野清治（5区）です。主にデイサービスの車両を運転しますが、利用者の皆さんが安心して乗れるように安全運転を心がけていきたいと思っています。



デイサービスセンターの玄関



3月14日、村出身者のもとへ発送されたふるさと交流便の第11号



商工ガイドを使って、買物は村内で



開会直後に行われた自主グループの体験発表

大会で生涯学習の気運を広める

生涯学習村民大会が、三月十九日、農民研修館で開かれました。この大会は、村民の皆さんに生涯学習の気運を広げようと、七年前から毎年開かれていたもので、ことしは、自主グループで活発な活動に取り組んでいる七区の志

商工ガイドで商工業の活性化を

村内にあるさまざまなお店や事業所などを皆さんに知っていただくこと、このほど「樺東村商工ガイド」が完成しました。このガイドは、村内にあるさま

ふるさと交流便を村出身者へ

村では「ふるさと創生基金」の利子運用の一環として、本村出身者へふるさと交流便を年二回送っています。このほど第十一号が

村職員の人事異動がありました

四月一日付けで、職員の人事異動がありましたのでお知らせします（カッコ内は前）。
【行政職】▼産業経済課係長・倉持直美（建設課係長）▼住民課／隣保館主任兼運転手・猪又弘一（渋川農業共済組合主任）▼建設課主事・萩原恒夫（建設課主事／

県建設技術センター派遣）▼社会教育課主事／文化財事業団研修・飯塚邦守（住民課主事）▼住民課主事補・金井毅（新採用）▼保健年金課係長・金子ゆかり（新採用）▼住民課係長・社会福祉協議会派遣・笹澤悦子（新採用）▼保育園・幼稚園▼北部保育園

長・馬場智子（南幼稚園長）▼南幼稚園長・高橋公子（北幼稚園長）▼北幼稚園長・木暮まさ子（同園教務主任）▼北幼稚園教務主任・井草典子（南幼稚園教務主任）▼南幼稚園教務主任・岡野多恵子（同園教諭）▼南幼稚園教諭・森田文子（北幼稚園教諭）▼北幼稚園教諭・吉沢好江（北部保育園保母）▼北部保育園保母・志岐英代（中

部保育園保母）▼北部保育園加配保父・本間正章（南部保育園保父）▼北部保育園保母・新井香織（新採用）▼退職▼生方秀子（北部保育園長）▼狩野栄子（保健年金課係長）

送料とも無料で送らせていただきます。



記念講演をする笹沢教授。会場には手芸などの作品や公民館教室のようすも紹介されていました



報告会では、美しい村内各所の道路などの完成予想イラストも発表されました



思わず聞き入ってしまう高玉院長の話



日頃の学習成果が披露された学習発表会（写真は世熊集会所の方々による詩吟）

集会所学習の成果を一堂に会す

三月五日、「第十三回集会所学習成果合同発表会」が南部コミュニティセンターで行われました。この発表会は、村内六カ所にある集会所における各種教室の成果

福祉ふれあい大会

恒例となった「福祉ふれあい大会」が、三月十一日、南部コミュニティセンターで開かれました。村などの後援を得ながら社会福祉協議会が行っているこの大会は、ことしで六回目を迎え、今回も百六十人余りの皆さんが参加するなど、楽しい福祉イベントとして成長しました。

ことしは福祉講演会も同時開催

ことしの大会では、老年病研究所付属病院の高玉真光院長を迎えて、「高齢者の健康管理」と題した講演会を午前の部で開催。豊富な知識や経験と、患者をリラックスさせてくれるような笑いを誘う高玉院長の話に、聴講者は聞き入っていました。軽スポーツを通じて参加者の交

の司会により披露されました。会場に集まった二百人余りの皆さんは、発表される芸能を鑑賞したり、北小の同和教育推進委員の石田先生による「同和教育の現状と課題」と題した講演に聞き入っていました。

また会場内には、手工芸などの教室で作られた作品も展示されるなど、さまざまな教室の成果も紹介されていました。



玉入れを楽しむ福祉ふれあい大会の参加者

糖尿病教室の生徒へ卒業証書

糖尿病の知識を広めていただくことと開かれていた「糖尿病予防教室」の閉校式が、三月九日、農民研修館で行われました。渋川保健所で開催したこの教室には、生徒として糖尿病を克服し

た人や、その予備軍となっている人など十人が参加していたもの。閉校式では、渋川保健所の猿谷繁所長が卒業生一人ひとりに、一言コメントを付け加えながら卒業証書を手渡していました。

豊かになる日本と比例するかのようになると続ける糖尿病患者。四十歳以上の人の約四割が、糖尿病という統計も出ているそうです。平成七年度も村の主催による糖尿病予防教室が、ことしの秋ごろ開校する予定です。



生徒には、猿谷所長から卒業証書と一語に励ましの言葉も

各分野の効率的な工事をめざす

平成六年度の事業として取り組んでいた「樺東村農業農村快適環境整備調査報告書」が完成し、三月二十三日、農民研修館に県や村

の関係者を集めて、報告会が開かれました。道路や下水道、ほ場整備などの整備計画をまとめて、快適な農業

環境を整備し、農業振興を図ろうと作られたこの報告書は、今後予想される各分野の工事が、効率的に実施されることもめざしています。報告会では、村および県の土木

や土地改良、農業などの関係者に対して、村内の状況および各分野の整備が、将来どのように展開されるかが説明されていました。



死因のトップはガン

(悪性新生物)

ガンでは肺ガンがトップで8人

数字で見る村の死亡統計

表1 死因別死亡者数

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	総計
原因別	悪性新生物(ガン)	心疾患	肺炎および呼吸器疾患	脳血管疾患	その他	
内訳						
総数	29	23	17	12	14	95
男	17	7	11	4	7	46
女	12	16	6	8	7	49

表2 悪性新生物部位別死亡者数

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	計
部位	肺ガン	胃ガン	大腸ガン	すい臓ガン	その他のガン	
内訳						
総数	8	6	4	3	8	29
男	5	5	1	2	4	17
女	3	1	3	1	4	12

平成6年1月1日～12月31日までの死亡統計を紹介します。

昨年までと比べると、1位と2位の順位が入れかわり、1位が悪性新生物(ガン)になりました。2位は心疾患ですが、男女別にみると女性の方が圧倒的に多くなっています。3位は肺炎および呼吸器疾患、4位は脳血管疾患となっています。

表2は悪性新生物(ガン)の部位別の死亡者数を表にしたものです。昨年は、胃ガンが1位でしたが、ことしは肺ガンが1位となりました。

ガンの予防のポイントは、食生活と禁煙です。特に肺ガンはタバコとの関係が大きく、非喫煙者と比べると、死亡率は4倍以上高くなるといわれています。肺ガン以外にも、食道ガン、胃ガンなどタバコによって死亡率は高くなります。タバコは吸っている本人ばかりでなく、まわりの人へも悪い影響を与えます。ガンの予防には、まず禁煙しましょう。

○お誕生おめでとうございます

※カッコ内は保護者の名前

おめでとう

男の子

10区 鹿島 悠樹ちゃん

17区 清水 司ちゃん

15区 敬司さん 孝太ちゃん

17区 五味 悠河ちゃん

3区 義康さん 恭一ちゃん

3区 正人さん 2月3日生

6区 土田 修兵ちゃん

4区 金井 和也ちゃん

4区 幸夫さん 辰也ちゃん

11区 須田 梨沙ちゃん

20区 内海 祐香ちゃん

1区 秋原 成美ちゃん

4区 幸徳さん 玲菜ちゃん

16区 石坂 有希ちゃん

2月14日生

女の子

11区 須田 梨沙ちゃん

20区 内海 祐香ちゃん

1区 秋原 成美ちゃん

4区 幸徳さん 玲菜ちゃん

16区 石坂 有希ちゃん

2月14日生

わが家のアイドル

8区 浅見 駿介ちゃん

(靖雄・真理子さんの長男 1歳2カ月)

わが家のアイドル募集中!



8区 浅見 駿介ちゃん

(靖雄・真理子さんの長男 1歳2カ月)

「元気で男らしく強く育ってほしいですね」

人口と世帯

(3月1日現在)

総人口	12,711人(+18)
男	6,554人(+13)
女	6,157人(+5)
世帯数	3,866戸(+14)

()は対前月

村内の交通事故

(3月末日現在の累計)

事故件数	10件(-4)
死者	0人(±0)
傷者	10人(-10)

※()は前年同期対比

シートベルトは必ずしましょう

●おくやみ申し上げます
3区 石川 久雄さん
3区 萩原 繁富さん
3区 星野 せいさん
10区 岩崎 次郎さん
11区 阿久澤 一郎さん
14区 富澤 千明さん
14区 根本 イチさん
17区 原澤 クラさん
20区 齋藤 久さん
75歳 66歳 67歳 32歳 76歳 93歳 78歳 83歳 74歳
(この欄に掲載を希望しない場合は、届け出のとき窓口までその旨お話しください)

こちら編集室です

ふれあい館で活躍してくれる皆さんが決まりました。施設も新しく、従業員も増えました。助けていただきありがとうございます。ふれあい館の従業員として、郷土の誇りに取り組んでくれるスタッフに、皆さんも応援してください。高齡化社会という時代の波が目前まで迫っています。ふれあい館がその波をしっかりと受け止め、私たちが安心して暮らせるような施設になることを願います。(繁)